

# 街道を歩く

## 中山道：八瀬沢一細久手宿一平岩



### 細久手宿 (大湫宿より1里半)

慶長9年(1604)に大湫宿が開かれたが大湫宿一御嵩宿間が長く(約17.6km)人馬が難儀であったので美濃代官大久保長安が国枝氏に命じ慶長11年仮宿を開いた。同15年(1610)に新宿となった。国枝氏(与左衛門重円)は揖斐郡本郷中世国枝氏の分脈、天正年中にここに山野を拓き文禄4年(1595)に氏神 日吉愛宕神社を勧請、国枝氏は宿役に就かず“宿長”と言う家柄で明治まで遇される。町並みは3町45間、櫛形はなく上町と下町が弓形になっている。尾州藩山村氏宗家の知行地、無石高。

### 大黒屋 (問屋も兼ねる)

酒井吉右衛門は尾州家の定本陣であった。これは本陣、脇本陣が手狭であったうえ領主徳川公が他の藩主との合宿を嫌ったため今も卯建、玄関式台、上段の間など残る。今も旅館営業。

寛政10年(1798)の大火で焼失現堂宇は享和2年(1802)宿の守護仏として再建される。境内には観音、石仏、石塔、歌碑などがある。「細久手の庚申さん」と親しまれる。

細久手庚申堂  
細久手  
尾州家定本陣大黒屋  
本陣跡  
愛宕神社  
脇本陣倉  
高札場  
細久手宿



秋葉坂三尊石窟



細久手庚申堂



モーターランド



切山辻の馬頭様

奥之田一里塚  
高さ4m 旧態を保つ

### 本陣、脇本陣

本陣(小栗家)今食品店小田井家の地脇本陣も小栗家が勤める、本陣の向い側遺構はない、空き地に土蔵が残る。大黒屋と交互に問屋を勤める。



本陣(今小田井家)



享保13年(1728)の地蔵尊  
天神辻の地蔵様

焼坂の馬頭様

三面八臂で忿怒相の  
観音様、文化4年(1807)建立



池の小島に弁財天の祠  
天保7年(1836)建立。  
旅人のオアシスであった。



弁財天の池



北野坂の廻国塔

### 北野坂の廻国塔

六十六部碑とか六部碑と言われ大乘妙典(法華経)を66部写経し全国(66州)に奉納して廻った。修験道行者の記念塔で道中安全の碑として信仰があった。

北野神社

一つ屋茶屋跡

警察犬訓練所

八瀬沢

八瀬沢立場跡  
中山道石碑

琵琶峠より



八瀬沢琵琶峠西入口

永享年間(1429-41)土岐頼元が創建東濃曹洞宗の中心、本尊観音菩薩座像文和5年(1356)作寄せ木造り山門とともに県重文財



曹洞宗本山  
開元院

旅人の上り下りや  
西の坂

津橋

秋葉坂三尊石窟

明和5年(1768)の三面六臂の馬頭観音 天明7年の千手観音、秋葉前立仏の3躰が石室に祀られている。旅人たちが道中の安全を祈った。

蟹ヶ窪

日銭を稼ぐ人足や駕籠の溜まり場